



国民の生活が第一

People's Life First

号外 2012年11月23日 発行

国民の生活が第一 東京第12区総支部  
〒114-0022 東京都北区王子本町1-18-8  
TEL 03-5963-5623 FAX 03-3906-7135

<http://www.aoki-ai.com>

衆議院  
東京12区

前衆議員青木愛氏  
(生活公認)

決意新たに!!

衆議院解散、12月16日総選挙。



■生年月日 昭和40年8月18日 東京生まれ ■学歴 昭和53年3月 千倉町立健田小学校卒 / 昭和56年3月 千倉町立千倉中学校卒 / 昭和59年3月 千葉県立安房高等学校卒 / 昭和63年3月 千葉大学教育学部卒 / 平成11年 千葉大学大学院教育学研究科修了 / 東京芸術大学大学院音楽教育研究科 研修生として1年在籍 ■経歴 平成15年11月 第43回衆議院議員総選挙で初当選 / 平成19年7月 民主党参議院比例区初当選 / 平成21年8月 第45回衆議院議員総選挙で二期目当選(東京12区) 民主党副幹事長 平成23年消費者問題に関する特別委員会委員長 / 平成24年7月 社会保障・税一体改革関連法案に反対票を投じ、離党届を提出 新党「国民の生活が第一」結党に参加 ■職歴 衆議院議員小沢一郎 秘書 社会福祉法人櫻の会 ゆうひが丘保育園理事

「信念」の政治を貫き、再び国政へ。

11月16日、衆議院が解散された。これを受け政府は総選挙を12月4日公示、16日投開票とする日程を決め、事実上の選挙戦がスタートした。

今回の選挙は、国民との約束であるマニフェストを反故にしつづけた民主党と利権政治の復活を狙う自民、公明両党に対し、「国民の生活が第一」は日本の未来のために信念を貫いた同志、そして、新たに参画した志を共有する同志とともに、政権交代で歩むべきはずであった真の民主主義の確立へ向け、勝利しなければならぬ。

ここ東京12区は、青木愛前衆議院議員を新党「国民の生活が第一」の一次公認候補として擁立することを決定している。青木愛氏は、衆議員、参議員として国政を担い、前回の総選挙では北区、足立区の一部を選挙区とする東京12区で勝利。子育て、教育、社会保障などを中心に、持ち前の行動力で区民のいのちと暮らしを守ってきた。特に地元要望が多かった東京北社会保険病院の存続のため関係法案の修正可決に尽力した。また、子育て支援や医療体制の整備など区民の生活、そして国民の生活を守ることに取り組んでいる。今選挙は、自らの経験と政治の原点を忘れることなく、国民が主役の政治を願う全ての人の思いを代表して戦いに挑む。

官僚主導で被災地以外に使われた「デタラメな復興予算。遅々として進まない原発放射能問題に加え、民自公談合政治で進められたデフレ経済の中での消費税増税。既得権益を守ることに執着した一般会計(90兆円)と特別会計(190兆円)の二重予算による官僚主導の政治。このままでは、被災地の復興と日本の未来に壊滅的な影響が必至である。

民意による政権交代を果たした2009年。そして、大震災後初めての国政選挙。高い理想と正しい政策をまっすぐに掲げる「国民の生活が第一」と「青木愛」氏の勝利が、真の民主主義確立には欠かせない。

